

形成外科

1. 目的と特徴

東京女子医科大学形成外科は、昭和50年5月に診療をスタートした。当初より熱傷、先天異常、顔面外傷、母斑や皮膚腫瘍などオールラウンドな診療ができる形成外科の確立を目指してきた。特に熱傷治療に力を入れ、昭和57年には、当時まだ全国的にも少なかった熱傷治療専門病棟を設置し、東京都から熱傷救急医療制度の熱傷治療専門施設として指定され、昭和60年にはWHO（世界保健機構）の熱傷研究研修センターとしても指定されている。さらに外科系各科との合同手術において、皮弁外科およびマイクロサージャリーの技術を応用した再建手術（とくに乳房再建、頭頸部再建など）にも大きな実績を挙げ、チーム医療の一端を担っている。最近では皮膚培養、人工皮膚、神経再生といった最新の治療研究も行なっている。当科で中心となる基本理念は「病める人の病気の回復と心の健康さを取り戻すこと」であり、最新の医療技術を提供できるように日々努力を重ねていると共に患者さんと温かく接する臨床医の育成にも努めている。当科では、形成外科医として幅広い知識、技術を修得することが可能であり、後期研修施設として適した施設である。

2. 指導スタッフ

教授・基幹分野長	櫻井裕之
准教授	松峯 元
准教授	新美陽介
講師	長谷川祐基

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学形成外科

研修協力施設：東京女子医科大学東医療センター形成外科、東京女子医科大学附属八千代医療センター形成外科、日本大学医学部附属板橋病院形成外科、独立行政法人国立病院機構災害医療センター形成外科、都立広尾病院形成外科、財団法人東京都保健医療公社多摩総合医療センター形成外科、財団法人東京都保健医療公社豊島病院形成外科、川口市立医療センター形成外科、鹿児島市立病院形成外科、埼玉県立がんセンター形成外科、ハートライフ病院形成外科、上尾中央総合病院形成外科

4. 研修カリキュラム

A：一般目標

豊かな人間性、幅広い見識、社会に貢献する使命感と責任を持ち、形成外科学に関する基礎的な知識と技術を習得し、実際の臨床に応用できる能力をもつ医師の養成を目的とする。

B：行動目標

- 1) 形成外科診療に必要な基礎知識を修得し、臨床に応用する。
- 2) 形成外科診療に必要な処置・麻酔に習熟し、臨床に応用する。
- 3) メディカルスタッフと協力し患者の問題点を解決する。
- 4) 患者、家族の訴えを真摯に聞き、患者の苦痛に思いやりを示す。
- 5) 患者、家族に病状、治療方針を説明する。

- 6) 医療安全管理の基本を説明し、実践する。
- 7) 治療方針について上級医、指導医と相談する。
- 8) カンファレンスに参加して、討論する。
- 9) 最新の医療情報を取得する。
- 10) 学会に参加し、発表する。発表内容を論文として投稿する。
- 11) 臨床記録として役立つ基本的な医学写真の撮影方法を修得する。
- 12) 医療記録(診療録、手術記録、病歴要約)、診断書、報告書を遅滞なく正確に記載する。
- 13) 低難度、中難度の手術を施行する。高難度の手術の助手をする。
- 14) 形成外科専門医を取得する。
- 15) 上記すべてに対して下級後期臨床研修医を指導する。

C：年次別後期研修スケジュールと研修内容

研修1、2年次

形成外科病棟および熱傷ユニット研修

外来研修

手術研修(基礎編)

この期間に形成外科医としての基本的知識、技術とともに医師として必要な基本的見識と態度を学ぶ。熱傷ユニットではとくに重症熱傷患者の診療を通して全身管理の基礎と救急医療に対する知識、技能を学ぶ。

研修3、4年次

手術研修を主体とした臨床修練を実施し、形成外科の専門的知識、技術の獲得に努める。診療チームの一員として研修医の直接指導に当たるが、講師やスタッフの指導助言も受ける。スタッフの指導のもとに外来を担当し臨床経験を積む。当直においても責任者となる。この時期から研究テーマを決め、指導医のもとで研究を進め、学会発表を経験する。また、研究成果は論文としてまとめ投稿する。

研修5年次

病棟のチーフレジデントとして、病棟のマネジメントを経験する。

研修プログラムのまとめとして日本形成外科学会専門医取得に向けて準備をおこなう。

※研修病院の選択と研修医師の配置はプログラム指導責任者と研修協力病院との協議によって年度ごとに決定される。

※研修内容の公平を期するために大学病院を含め研修協力病院間で異動を行なう。

D：週間予定

手術日：月～金曜日（ただし、金曜日は外来手術）、四肢外傷、熱傷の緊急手術は随時。

教授回診：毎週月曜日 午前7：15から

診療グループの回診：毎朝、夕方

定期的カンファレンスなど

- 1) 術前日症例検討会（月～水曜日、夕方）
- 2) 抄読会（毎週木曜日午後）
- 3) 週間症例検討会（毎週火曜日午前）
- 4) 術後症例検討会（月1回）
- 5) リサーチカンファレンス（毎週木曜日午後）

6) 招待講演:内外の講師を招く、3ヶ月に1回程度

E: 評価

准教授・講師および教授・基幹分野長により逐次評価を受ける。

協力施設では各指導責任者により逐次評価を受け、教授・基幹分野長に報告される。

学会の発表内容、発表態度がスタッフから評価される。

形成外科専門医の申請、論文の投稿にて評価される。

5. 後期臨床研修修了後の進路

後期臨床研修修了後、東京女子医科大学形成外科に勤務を希望するものは、形成外科教授・基幹分野長と相談し、助手及び助教として採用も可能。

6. 学位

研究論文が掲載された後、教授・基幹分野長との協議のもと、医学博士の学位の申請が可能である。臨床大学院生は博士課程の修了時に医学博士の学位が授与される。

7. 専門医

日本形成外科学会専門医以外に、日本熱傷学会専門医、日本創傷外科学会、日本レーザー医学会認定医などの取得が可能である。

8. 問い合わせ先

162-8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学形成外科

医局長 長谷川祐基

TEL : 03-3353-8111 (内線 : 37111)

FAX : 03-5269-7616